

平成 27 年 12 月 17 日

道央廃棄物処理組合
管理者 山口 幸太郎 様

焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議
委員長 吉田 淳一

焼却施設建設候補地選定業務の三次選定に係る評価項目等について

平成 27 年 7 月 28 日付けで依頼のありました「焼却施設建設候補地選定業務の三次選定に係る評価項目等」について、6 回にわたり検討会議を開催し、多方面からの検討を行った結果、以下のとおり結論が得られたので報告します。

記

焼却施設建設候補地選定業務の三次選定に係る評価項目等は、別添報告書のとおり大項目として 7 項目、大項目を構成する小項目として 27 項目とします。

なお、委員より、選定時の参考としていただきたいとの主旨から、別紙のとおり意見がありましたので、申し添えます。

焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議委員からの意見

- 1 「合意形成」及び「経済性」が一番重要であり、この項目の配点の重みを付けるのが良いと思う。

- 2 重要視される項目は、土地取得の可能性の可否に関わる「合意形成」である。
地権者の合意がなされなければ、2次選定で絞り込んだ4地区は候補地とならず、また、評価項目を設定し更に精査して絞り込んでいくには、「合意形成」は非常に重要な問題ではないかと考えている。

- 3 「土地利用」に関しては、「将来的な整備の可能性」が、重点的に挙げられても良い。
「防災面」については、「活断層からの距離」、「水害想定」、「液状化」の3項目を評価していただきたい。
また、「合意形成」、「経済性」についても、重点的な項目と思う。

焼却施設建設候補地選定業務の三次選定
に係る評価項目に関する報告書

平成27年12月

焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議

目 次

焼却施設建設候補地選定業務の三次選定に係る評価項目等について . . . 1

焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議 委員名簿 4

焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議 開催経過 5

焼却施設建設候補地選定業務の三次選定に係る評価項目等について

No	評価項目	評価の考え方
1. 自然環境の保全		
1	水源、放流先の状況	水源からの距離が長いことが望ましい。 放流先として下水道が近くに整備されていることが望ましい。
2	植生自然度	現状の自然を開発することなく、施設を整備することが望ましい。
3	希少動植物	希少動植物への影響がない地域が望ましい。
4	その他自然環境に影響を及ぼす可能性	上記項目（No1 から No3）以外で、その他自然環境に影響を及ぼす可能性がない地域が望ましい。
2. 土地利用		
5	現況土地利用状況	現況の土地利用方法について、特段の利用はされていない地域が望ましい。
6	地形・地質	地形はできるだけ平坦であることが望ましい。 地質は、できるだけ強固であることが望ましい。
7	地歴	過去に工場や処理場等の建設履歴等がなく、埋設物や土壌汚染等の可能性が低いことが望ましい。
8	将来的な整備の可能性 （土地の拡大）	将来的に、焼却施設以外を整備できる敷地の確保可能なことが望ましい。
9	その他 （地下埋設物）	施設建設において、地下埋設物の影響がないことが望ましい。

No	評価項目	評価の考え方
3. 防災面		
10	活断層からの距離	活断層からの距離が長いことが望ましい。
11	水害想定	治水対策がされていることが望ましい。
12	液状化想定	液状化による影響が少ないことが望ましい。
13	標高	標高が高いことが望ましい。
4. 周辺環境の保全		
14	候補地中心から組合構成以外の自治体までの距離	候補地中心から組合構成以外の自治体までの距離が長いことが望ましい。
15	候補地中心から文化・教育・福祉・医療・保健施設までの距離	候補地の中心から文化・教育・福祉・医療・保健施設までの距離が長いことが望ましい。
16	候補地中心から文化・教育・福祉・医療・保健施設の件数	候補地中心から一定距離にある範囲内にある文化・教育・福祉・医療・保健施設の件数が少ないことが望ましい。
17	同一路線への車両集中	収集車が施設へ搬入する際に、同一路線ではなく、複数の路線からアクセスすることが望ましい。
18	緩衝帯として防風林、河川等が利用可能な地域	周辺地区との緩衝帯として、防風林、河川等が利用可能な地域が望ましい。
19	観光地	観光地からの距離が長いことが望ましい。

No	評価項目	評価の考え方
20	日照障害等の影響	施設が建設されても日照障害等の影響がないことが望ましい。
21	埋蔵文化財との距離	埋蔵文化財からの距離が長いことが望ましい。
5. 社会条件		
22	収集運搬費用の各市町におけるバランス	収集運搬費用の各市町におけるバランスが確保できることが望ましい。
23	インフラ整備状況 (上水、電気)	候補地周辺のインフラ整備状況が良好であることが望ましい。
24	騒音、振動、悪臭規制	騒音、振動、悪臭に係る規制がかけられていないことが望ましい。
6. 合意形成		
25	土地の取得及び建設同意の取得等についての可能性	土地の取得及び建設同意の取得等についての可能性が高いことが望ましい。
7. 経済性		
26	収集運搬効率及び経済性 (収集車による二酸化炭素排出量)	収集運搬効率がよく経済性に優れることが望ましい。
27	事業費(用地費、造成費、施設建設費、維持管理費)	事業費(用地費、造成費、施設建設費、維持管理費、道路設置費、インフラ整備費等)が安価で経済性に優れることが望ましい。

焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議 委員名簿

氏名	所属等	備考
吉田 淳一	千歳科学技術大学教授	委員長・識見
沼田 常好	千歳市町内会連合会 会長	千歳市
中川 勝美	千歳市町内会連合会 安全環境部長	千歳市
麻生 昌裕	北広島市自治連合会 会長	副委員長・北広島市
小池 隆史	北広島市自治連合会 副会長	北広島市
三步 幸光	南幌町区長会 会長	南幌町
佐藤 秀雄	南幌町環境衛生組合 組合長	南幌町
榎本 義隆	三川自治区連合会 会長	由仁町
黒川 範子	由仁町商工会 女性部長	由仁町
窪田 秀治	南空知農業共済組合 副組合長理事 長沼町農業委員	長沼町
菊澤 巧	ながぬま土地改良区 副理事長	長沼町
工藤 公雄	公募	北広島市

焼却施設建設候補地選定評価項目等検討会議 開催経過

	開催日	場所	内容
第1回	7月28日(火)	千歳市役所	依頼状交付式 正副委員長選出 会議進行確認 組合概要 基本計画概要 (2市3町)一次選定結果 会議開催スケジュール
第2回	9月7日(月)	北広島市福祉センター	焼却施設(千歳市)の事例紹介 評価項目の考え方 評価項目の事例
第3回	10月16日(金)	南幌町役場	三次選定における評価項目(案)について
第4回	11月18日(水)	由仁町文化交流館	焼却施設建設候補地選定業務(一・二次選定)について 三次選定評価項目(案)について
第5回	11月27日(金)	長沼町役場	焼却施設建設候補地現地視察 三次選定評価項目(案)について
第6回	12月9日(水)	千歳市環境センター	報告書検討

※開催年は平成27年